

東亜地所 株式会社



贈呈理由

エコキュートを採用した次世代省エネマンションの普及拡大



ザ・ロイヤル小町

2015年に創立50周年を迎えた東亜地所株式会社は、創業以来、広島市内とその近郊を中心に約40カ所の地域において、ニュータウン事業を手掛けてきたディベロッパーである。

1988年に完工した東亜廿日市ニュータウン「宮園」(総区画数1,982区画)や、現在分譲中の東亜祇園ニュータウン「春日野」(総区画数2,453区画)は、同社沿革の中でも代表的な大規模事業であり、これらを通して、半世紀にわたり約1万戸を超える住宅供給に携わってきた。特に「春日野」は、街づくりテーマを“100年先を生きる街づくり”とし、全国

で初めて、開発計画段階からニュータウン背後への「砂防堰堤(砂防ダム)」の築造を計画、また緑化率の高いニュータウン事業として、国土交通省から県内初の「優良計画開発事業」の認定を受けている。

1990年からは、ニュータウン・戸建住宅事業で得たノウハウを活かして分譲マンション事業にも取り組み、「ロイヤルシリーズマンション」として、これまで全19棟、約730戸を供給。時を経ても資産性の高い立地に上質な住空間を提案するシリーズマンションとして、クオリティの高い商品づくりに徹している。



東亜祇園ニュータウン「春日野」

2012年竣工の「ロイヤルシティビュー牛田本町」(総戸数23戸)や「ロイヤルシティパーク庚午中」(総戸数33戸)では、住宅の省エネルギー性向上とCO₂排出量の削減に寄与する高効率ヒートポンプ給湯機エコキュートを採用。同機器の省エネ効果とともに、経済的で家計にやさしいマンションライフを訴求してきた。

現在は、広島中心部や平和公園にも程近い「ザ・ロイヤル小町」(総戸数39戸、2017年6月竣工予定)において、エコキュートやLED照明、超節水トイレなどを標準装備し、ランニングコスト削減を意識したマンションを提案している。

今後も同社は、広島を代表する老舗ディベロッパーとして、多様化する住宅志向に応える優良な住環境づくりと、低炭素社会の実現に向けた商品の提案を強化していく。

主な蓄熱システム導入実績

- ロイヤルシティビュー牛田本町
竣工:2012年
■蓄熱設備概要
エコキュート370ℓ×23台(三菱電機)
- ロイヤルシティパーク庚午中
竣工:2012年
■蓄熱設備概要
エコキュート370ℓ×33台(三菱電機)
- ザ・ロイヤル小町
竣工:2017年予定
■蓄熱設備概要
エコキュート370ℓ×39戸(パナソニック)